

すわみつえ通信

No.182 2021年7月19日(月)

日本共産党鴻巣市議会議員

諏訪 三津枝



連絡先 鴻巣市赤見台3-2-7
TEL: 596-9440 FAX: 507-4151
携帯: 080-5039-2785
E-mail: mi-suwa@ezweb.ne.jp
mitsue-suwa@jcom.zaq.ne.jp

WEBで

すわみつえ



ホームページで、すわみつえの政策とお約束をご紹介します。

福祉・教育最優先の街づくり 市民の声を生かしいのちとくらしを守る市政に

2021年原水爆禁止国民平和大行進は、北は北海道礼文島、南は沖縄から各地を出発し、日本政府に禁止条約参加を求め、8月6日、9日の原水爆禁止世界大会に向けて、全国を歩き世論を広げます。

鴻巣市は5月5日に礼文島を出発した、青森→秋田→山形→新潟→長野→

核兵器禁止条約が発効(2021年1月)して初めての行進

核兵器のない世界を実現するために訴え、歩き続ける、2021年原水爆禁止国民平和大行進が7月15日(木)に鴻巣市で行われました。

核兵器禁止条約参加の日本へ「国民平和行進」でバトンを繋ぐ



2021国民平和行進鴻巣実行委員会の出発式に参加した各団体の皆さん=7月15日、鴻巣市役所玄関前駐車場

北本市では、三宮市長と議長が臨席し、「歓迎式」が市職員の司会で執り行われました。市民が行う平和運動への対応が違ふと感じました。

非核平和都市宣言の鴻巣市から北本市に平和のバトンを繋ぎ、広島・長崎、未来へと「ノーモアヒバクシャ」の声が続きます。

昨年に続き、コロナ感染防止のため、参加者の人数を制限し、歩き行進は行わず宣伝カーからの訴えを行い、吹上駅・北鴻巣駅・鴻巣駅でも核兵器廃絶の訴えをしました。行進を北本市に繋ぎ北本市役所での集会に参加しました。

宣伝カーから市内を核兵器廃絶の訴え

8時30分より鴻巣市役所玄関前の駐車場で出発式を行いました。オープニングで埼玉うたこえ合唱団の方が「青い空は」他2曲をアコーディオン伴奏で歌ってくれました。実行委員長挨拶に続き、公務で臨席がかなわなかった原口市長のメッセージを市職員が代読し、続いて鴻巣市議会議長が挨拶されました。教育長はじめ数名の職員の臨席がありました。

鴻巣市役所で出発式

群馬→埼玉県に繋いできたコースで、行田市より引き継がれました。

新型コロナウイルス対策

鴻巣市においても感染が広がっています。先週末に市内小学生の陽性が確認されました。教育委員会に対策を電話で尋ねたところ、学校が保健所と連絡を取り合って対処しているとのことでしたが、土日の休みの間、児童・保護者の不安を払拭する明快な対応は聞かれませんでした。PCR検査の徹底を申し入れましたが、「保健所の指示による」というものでした。

鴻巣市コロナ対策本部の決定事項

【公共施設の対応】開館・開所を現状のとおりに継続(馬室キャンプ体験広場は8月22日まで利用休止)

【イベント】おおとりまつり・かわさとフェスティバル・市民体育祭は、各イベントの主催者より中止の決定



俳句コーナー

掌で十文字切り冷奴

瑠璃子

毎週朝 駅頭においてホットなニュース「すわみつえ通信」をお届けします。
(月)吹上駅南口 (火)北鴻巣駅東口 (水)北鴻巣駅西口 (木)吹上駅北口 (金)鴻巣駅西口

居酒屋の灯 消すな 小池氏が訪問 「十分な補償必要」 東京



店主の島村さんと懇談する小池晃書記局長＝17日、東京都渋谷区

日本共産党の小池晃書記局長は7月17日、党全国業者後援会のメンバーとともに、東京都渋谷・中野両区内の商店、飲食店を訪問し、懇談するとともに、党の「居酒屋の灯を消すな」ポスターの張り出しを依頼しました。割烹料理店「海花」オーナーの森裕一朗さん（46）は、小池氏に「同じように人が集まるカフェなどにはいいのに、なぜ、酒を出す店だけだめなんですか」と憤りました。コロナ以前と比較して売り上げは30%ダウン。最も額の大きい今年1月分の協力金はまだ支給されていません。「うちはまだ店を開けられるからいいけど、友達のところは閉めました」と肩を落しました。

小池氏が「酒類を提供する飲食店に対する政府の対策が浮足立っています」と語ると森さんは、

「しどろもどろですね。政府は僕らの息の根を止めようとしているようです。一つの店の問題だけではありません。仕入れ先や取引先など、その循環を止めないようには営業を続けています」と語りました。

「自粛を求めるなら十分な補償が必要です」と小池氏。森さんは、ポスターを見つめながら、「閉めれば足が出ます。ぜひ頑張ってください」と語り、店先に張り出されたポスターを見て、「お客さんも喜ぶ人が多いと思う」と笑顔になりました。

創業50年の鮮魚店「魚のしまむら」の店主・島村速雄さん（78）は、「これまで、3軒の飲食店に魚を納品していたけど、全部なくなった」と話しました。「商店街もシャッターを下す店が増えた」と島村さん。「そのへんのスナックだって4万円の（都の）協力金では、1日の売り上げにだってならないよ。もっと商売の実態を細かくつかんで、支援すべきだよ」と、国や都の感染拡大防止対策への思いを語りました。（しんぶん赤旗 7月18日付）



野党 臨時国会要求で一致



4野党党首会談。（左から）社民党福島党首、日本共産党志位委員長、立憲民主党枝野代表、国民民主党玉木代表＝7月16日、国会内

日本共産党の志位和夫委員長、立憲民主党の枝野幸男代表、国民民主党の玉木雄一郎代表、社民党の福島瑞穂党首は16日、国会内で会談しました。新型コロナウイルス対策等について、政府が混乱し、国会としての役割を果たしていかなければならないとの認識で一致し、憲法53条に基づいて、臨時国会の招集を求めることとなりました。野党の衆院議員136人の連名で菅義偉内閣に要求書を提出しました。

話題の3D猫、飛び出す秘密 本放送開始、新宿の新名所に？



JR新宿駅東口前の街頭ビジョンに映しだされた巨大な三毛猫の3D映像＝7日

「本物みたい」「かわい過ぎる」。東京・新宿のJR新宿駅東口広場で、道行く人々が驚いた様子でビルの上を見上げていた。視線の先でふんふんと鼻を鳴らし通行人を見回していたのは、体長10メートルを超える巨大な三毛猫。7月12日から本放送が始まった、大型街頭ビジョンの3D映像広告だ。

ビジョンを運営するユニカ（東京都新宿区）によると、猫は毎朝7時に「起床」し、日中は通常の広告放送の合間に何度も登場。通行人に「猫語」で話し掛けたり、夜になると明かりを消して眠ってしまったりする。立体的に見える秘密はビジョンの形状にあり、奥行きのある部屋を湾曲した画面に映し出すことで、猫が部屋から飛び出して見える仕組みという。ユニカの担当者は「渋谷のハチ公のような名所になり、猫以外にもさまざまな3D広告を放映できたら」と期待を寄せた。（時事通信 7月12日）

【ロンドン時事 7月9日】東京・新宿に新たに登場した巨大な猫の3D広告が海外で大きな反響を呼んでいる。米ABCニュースの公式ツイッターは猫（キャット）とゴジラを組み合わせ「キャジラ」と命名。米CNNテレビは「インターネット上で注目を集めている」と紹介した。